



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦


= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

| | | | |
|-------------|------------------------|-----------|---|
| 第 3385 回例会 | No.4 | 2024.7.24 |  |
| 点鐘・ロータリーソング | 12 時 30 分 「それでこそロータリー」 | | |
| 四 つ の テ ス ト | 鬼束忠男 君 | | |
| 例 会 行 事 | 結婚・誕生会員卓話 | | |

会長時間



今日は、土用の丑の日です。今朝の宮日新聞のくろしお欄に謎ウナギという言葉を見つけました。カップヌードルの大豆や豚肉、野菜などから作られる謎肉から派生したネーミングだそうです。資源不足によるウナギの高騰に対応もそうですが、植物性タンパク質を使用しているそうですので健康に良さそうと思います。でも、ウナギも健康食ではとったりもしました。わが家は、ウナギ屋さんの隣ですので、今朝、5時前に起きたとき既に白焼きのにおいが家の中に流れ込んでいました。朝早くから、今日の仕込みをしているんだなと思いましたが、たれの香りはしませんので焼き魚の香りとあまり変わりません。昼前になればいい香りがしだすと思いますが。ウナギの香りを羨ましいと思いになるかもしれませんが、わが家では洗濯物ににおいがつくとで迷惑な部分もあります。ですが、せっかくですので謎ウナギではなく、本物のウナギが食べたいですね。古代オリンピックは、古代ギリシアのエーリス地方、オリンピアで4年に1回行われた当時最大級の競技会であり、祭典である。ギリシア語ではオリュンピア大祭、オリュンピア祭典競技とも呼ぶ。オリュンピアにはエーリスの祭神・ゼウスの神殿があった。本競技会・祭典は紀元前8世紀から紀元後4世紀にかけて行われたものです。当時ギリシアには四つの大会があり、

- 1.オリュンピア大祭：開催地オリュンピア 4年に1度開催 祭神：ゼウス。
- 2.ネメアー大祭：開催地ネメアー 2年に1度開催 祭神：ゼウス。
- 3.イストモス大祭：開催地イストモス（現・イストミア） 2年に1度開催 祭神：ポセイドン。
- 4.ピューティア大祭：開催地デルポイ 4年に1度開催 祭神：アポロン。の4つがありました。これら4つの競技大祭のうち、大神であるゼウスに捧げられるオリュンピア祭が最も盛大に行われた。最盛期にはギリシア世界各地から選手が参加した。ギリシア人はこれを格別に神聖視し、大会の期間およびそれに先立つ移動の期間、合計3ヶ月ほどをオリュンピア祭のための休戦期間に挙げた。そして、ギリシア人の血筋を持つ者しか参加が許されず、罪を犯した者も参加できなかった。起源は、トロイア戦争で死んだパトロクロスの死を悼むため、アキレウスが競技会を行いこれがオリュンピア祭の由来であるとする説がある。別の説によれば、約束を破ったアウゲイアース王を攻めたヘーラクレースが、勝利後、ゼウス神殿を建ててここで4年に1度、競技会を行った、といわれる。他にも諸説あるが、神話に残る競技会は何らかの事情

で断絶し、有史以後の祭典とは連続性をもたない。なおこれらの伝承のうちのいくつかは、エーリス市民らがオリンピックの由来を権威付けるために後に創作したものも含むと考えられる。また、夏季オリンピックの正式名称は、「オリンピック競技大会」(「Games of the Olympiad」)である。ゼウスが男性の神であることから、オリュンピア祭は女人禁制であった。それには奉納競技において競技者が裸体となることが関係していたとも考えられる。しかし、女子競技の部ともいうべきヘーライアという祭りが行われていた時代もある。これは名のとおりゼウスの妃ヘラに捧げる祭りで、オリュンピア祭と重ならない年に行われていた女子のみの祭典となっている。競技は短距離走のみで、右胸をはだけた着衣で行われたと当時を伝える像から考えられており、現在の夏季五輪のメダルに浮き彫りにされた勝利の女神はこれを着用している。競技優勝者にはオリーブの冠と生贄の獣の肉が分け与えられ神域に自身の像を残す事が許されているが、実際は肖像を壁画に残す等の事が多く行われている。なお、オリュンピア祭では体育だけでなく詩の競演も行われたことが伝わっている。競技は、第1回からの伝統である192m(1スタディオン)のスタディオン走(短距離走)のほか、ディアウロス走(中距離走、約380m)、ドリコス走(長距離走、約3.8km)、五種競技、円盤投、やり投、レスリング、ボクシング(拳闘)、パンクラティオン、戦車競走、走り高跳びなどがあった。場所はエーリス州のゼウスの神殿が建てられたオリュンピアの聖域にある競技場で開催された。開催1ヶ月前には開催を告げる使者がギリシア全体を回り、大会開催中の1か月の間は休戦となった。のちに参加都市国家が増えると、休戦期間はオリンピック開催時を含め前後に合計3か月伸びた。この休戦期間をエケテイリアという。この休戦は、オリュンピアに向かう競技者や観客の旅の安全を保障するためであった。ゼウスは旅行者の守護神であり、オリュンピア祭への旅の道はとりわけゼウスによって加護されると考えられた。そして、この禁を破った国はオリュンピア祭への参加が拒否されたほか、他国から外交関係を絶たれることにもなった。スパルタは実際に禁を犯してエケテイリアの時期に他国を攻めたため、オリュンピア大祭に参加できなかったことがある。大祭は初期には短距離走のみで1日で終了した。のちしだいに競技種目も増え、紀元前472年には5日間の大競技会となっていた。参加資格のあるのは、健康で成年のギリシア人の自由人男子のみで、女、子供、奴隷は参加できなかった。不正を防ぐため、全裸で競技が行われ、指導者も全裸だった。勝者には勝利の枝(この枝の木の種類は諸説あり)と勝利を示すりボンのタイニアが両腕に巻かれ、ゼウス神官よりオリーブの冠が授与され自身の像を神域に残す事が許された。競技会は大神ゼウスに捧げられる最大の祭典でもあった。祭りであるので殺し合いは固く禁じられた。格闘技で相手を殺した勝者には、オリーブの冠は贈られなかった。逆に、勝者であれば死者であっても冠が贈られた。パンクラティオンで相手が降参するのと同時に倒れて死んだ勝者に対して審判が冠を授けたという。オリーブの冠を授かった者は、神と同席することを許された者として、故郷で盛大に迎えられた。祖国の神殿に像が作られた競技者もいるし、税が免除されることもあった。いずれにしても祖国の歴史にながく名が刻まれることになった。この祖国での優勝者への過剰な褒章が、逆に大祭の腐敗を生んだ。祖国が優勝者に支払う報奨金は跳ね上がり、褒章欲しさに、不正を働くもの、審判を買収するものが出て、オリュンピア大祭は腐敗した。買収を行ったものと応じたものは多額の罰金が科せられただけでなく、その不正の深刻さに応じて肉体的懲罰や大会追放が言い渡された。この罰金を元に、オリュンピアに「ザーネス」と呼ばれる不正を象徴する見せしめのゼウス像が作られたが、ゼウス像の数は増える一方だったという。記録によれば最終的には16体までザーネスが建てられたとされるが、今日のオリュンピアに残されているのはその基部のみとなっている。

ローマがギリシア全土を征服し、属州に編入した後もオリュンピア祭は続けられたが、暴君として知られるローマ皇帝ネロは、自分が出場して勝者となるために第211回オリュンピア競技会の日程を本来行うべき65年から無理やり67年にずらしたのみならず、たとえ競技に敗れても優勝扱いにさえなっている。まさに暴君である。ネロの権力の濫用と不正に対する批判は強く、この祭時を変えさせてまで開催を強行した大祭は後に正式な大祭とされず、ネロの死後公式記録から抹消された。しかし変更された祭時は戻される事なくそのまま、最後の第293回大祭までこれは変わっていない。

キリスト教が広まるにつれ、異教ローマ神の祭典であるオリュンピアは、しだいに廃れていった。313年、ローマはキリスト教を認め、392年、国教とした。この時キリスト教以外の宗教は禁じられた事によりオリュンピア大祭も禁じられる事になった。最後の第293回オリュンピア祭は、翌393年に開催され、これが古代オリンピック最後の年となった。この後、ローマの異教神殿破壊令によりオリュンピアは神域を破壊され長い歴史の幕を閉じている。

幹事報告

1. 都城ロータリクラブより、創立 70 周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。
2. ローター希望の風奨学金より、” 風の便り ” (通刊 117 号)が届いておりますので、回覧致します。
3. 日南市より、令和 6 年度「道路愛護デー」日程及び作業場所について(ご案内)が届いております。
4. 2024.07.22 に開催しました「第 1 回奉仕プロジェクト部門 勉強会」に出席された方は、MU 対象となります。

ガバナー補佐報告

土曜日に宮崎県南部グループの今後について話し合いがありました。地区の戦略委員会にて宮崎県南部グループをどこかのグループに合併させる案が了承されました。具体的には中部グループ、西武グループのどちらかへ合併させる案が出ております。私の意見としては、東九州自動車道のことがある事と、かつては中部グループと一緒にあった事を発言させていただきました。しかし、会議の中で問題になったのは、串間についてでした。内容は串間は宮崎から遠いので都城の方がいいのではないだろうかという意見と、志布志が近いので鹿児島県東部グループがいいのではないかという意見がありました。次の日曜日にガバナー補佐経験者の会議があり、私はオブザーバー参加をいたします。そこで意見が言えれば申し上げたいと思っております。いずれにせよ、宮崎県南部グループは合併の方向で話が進んでおります。宮崎県中部グループと合併した場合は、13 クラブになるのでクラブを A グループと B グループに分けるという話になっております。その場合にはガバナー補佐を中部グループから輩出しなくてはなりません。串間ロータリークラブには、この旨を伝えており、クラブ内で協議をされるということです。この件につきましてご意見がありましたら私にお話しいただければと思います。

委員会報告

〇わかば奨学会

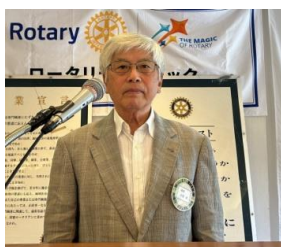
- ・令和 5 年度収支報告(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日))
- ・わかば委員会の名称をわかば奨学会に変更をしました。
- ・地区補助金がなくなるので今後理事会にて協議をしていきます。

〇雑誌会報広報委員会

- ・7 月度『ロータリーの友』みどころ説明
- ・今年度『ロータリーの友』電子版 ID/PW について

例会行事

結婚・誕生者卓話



小玉 淳君(誕生)

81 歳になりました。先日 70 周年が行われましたが、40 周年の折に記念誌をつくるという話が進んでおりましたが、その時にチャーターメンバーの創立会員の方の原稿をいただいております。なぜか、私の元にコピーがありました。この時は古澤昌子君のお父様が記念誌の委員長だったと思います。私も委員会にいたのでこの現行のコピーを持っていたのではないかと思います。この原稿を読まさせていただきます。

「ロータリーの思い出」 黒木 勝

昭和 28 年 11 月、私は宮崎銀行(当時日向興業銀行)の油津支店長を命ぜられて日南市に家族を伴って赴任した。丁度同市で、ロータリークラブ結成の動きが起ったところで、準備会が発足しようとしていた。一足先に宮崎市では、同年 2 月 17 日に当県初めてのロータリークラブが設立されたばかりだった。戦後、かろうじて再発足した日本のロータリーは、全国が唯一区(第 60 区)であったが、昭和 27 年に東西に二分割されて、東日本が第 60 区(クラブ数 61、会員数

829)、西日本が第61区(クラブ数47、会員数625)となり、ようやく拡大発展に向う態勢を整えたところであった。そこで、昭和27-28年度の第61区のカバナー島養利三郎氏は、当時神戸クラブの会員であった当県出身の実業家橋本修三郎氏を介し、また、大阪のクラブの応援をも得て、当時当県を代表する実業界の先覚者として活躍中の岩切章太郎氏の奮起を促し、当県の主要都市(宮崎・延岡・都城・日南)に一举にロータリークラブを誕生せしめようと企図されたわけであった。この強い意を受けた岩切氏は、早速県下主要都市の有志に呼びかけ、各市の会員候補者たちを宮崎市に集めて勉強会を開いたりした。かくて冒頭に述べたとおり、先ず宮崎クラブがいちはやく結成され、つづいてその後一年数ヶ月を経て、ほとんど同時に日南、延岡、都城の三クラブが誕生した。日南クラブは昭和29年6月17日に、宮崎クラブがスポンサークラブとなり、岩切章太郎氏を特別代表として創立されたが、創立メンバーは23名であった。会長に推されたのは日本パルプ(現在王子製紙)日南工場長の小林猛臣氏であった。同社からは事務部長の三島栄氏と山林部長の太田清治郎氏も入会された。その上、例会場として同社特別のご厚意によりの吾田の社用の山ノ上クラブを提供していただき、クラブとしてはまことに快適な恵まれた発足であった。サラリーマンのかなしさ、私はやがて昭和30年5月には大阪支店へ転勤となり、クラブ入会後わずか1年で退会の憂目を見る羽目となった。しかしおかげでその後もロータリーとの縁はとびとびながらもつながって、鹿児島南クラブに1年、延岡クラブに4年、宮崎西クラブに1年、宮崎北クラブに13年(創立会員)と都合20年間お世話になり、満70才となって完全に実業界を引退すると同時にロータリークラブも大会させていただいて今日に到っている。この長い間に亘って、大過なくいろいろの仕事を無事に私がさせていただいたということは、たいへんにロータリーの多くの貴重な^{えにし}縁と功德のおかげが大きかったことをしみじみと噛みしめており、今は感謝の気持ちでいっぱいである。

6・10・13

この原稿は本来であれば40周年記念誌に載っていたはずですが。この原稿が日南ロータリークラブ誕生のいきさつを知れる資料に成れば幸いです。本日はありがとうございました。



菊池 希樹君(結婚)

お祝いをいただきありがとうございます。早いもので31年目となりました。30年目の結婚記念日は何だろうかと調べてみたら真珠婚式だそうです。私が最近凝っているサウナについてお話しさせていただきます。サウナは2000年前から存在していて、その期限はフィンランドだと言われています。元々は木の小屋に熱した石を置き、水をかけて蒸気を発生させることで温まる方法だったそうです。現在でもフィンランドでは、サウナは生活の一部であり、家族や友人と過ごす重要な場となっているもあるそうです。日本でも、「サウナ愛好者」が増えていて、自分も使っていますが全国のサウナ施設

の情報をサウナ好きが発信している「サウナイキタイ」というアプリがあります。このアプリによると、宮崎で一番高評価の施設は宮崎第一ホテルです。宮崎に泊まる際は、ニシタチから少し遠いのですが自分も最近はこちらに泊まるようになりました。ここのサウナは水風呂が15度でとても冷たいのが特徴的です。また、入浴後に各種アルコールが3杯まで無料で飲めるサービスがあり、酒好きには嬉しいところです。サウナの健康効果についてですが、サウナに入ると、体温が上昇して、血液循環が促進されて、これにより、筋肉の緊張が緩和され、疲労回復が早まるという事です。また、発汗によって体内の老廃物や毒素が排出されるため、デトックス効果も期待できるということです。さらに、サウナの熱は免疫システムを活性化させ、風邪やインフルエンザの予防にもつながると言われているということです。また、サウナはストレス軽減や精神的なリラクゼーションにも非常に効果的で、高温の環境で過ごすことで、体内のエンドルフィンが分泌され、リラックス感が高まり、また、サウナ後に冷たいシャワーや水風呂に入ることによって、体温調節機能が活性化され、爽快感を得ることができて、これにより日常のストレスから解放されて、精神的な安定感が増すみたいです。このように、フィンランドの研究では、サウナを利用する人々は全体的な健康状態が良く、長寿であることが示されているそうです。ただし、自分もそうですが、高血圧や心臓病、その他持病のある方は、事前に医師に相談することをお勧めします。このように、サウナは、身体と心の両方に素晴らしい効果をもたらすみたいです。定期的にサウナを利用することで、健康増進やストレス解消、美容

効果など、多くのメリットを享受することができます。皆さんもぜひサウナを体験して、その健康効果を実感してみただけだと思います。私の卓話は以上ですが、本日のスピーチの骨子はチャット GPT に組み立ててもらいました。先日の例会でもありましたが、チャット GPT も是非活用されてみてはと思います。以上で私の結婚 30 年目の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。



今日は結婚のお祝いありがとうございました 私は嫁、子供 2 人と愛犬と住んでいます。結婚の話をすぐに終わるので今よく聞かれることを話します。それは極楽とんぼの CM の件です 山本さんとの出会いは 2006 年でした。その当時山本さんは日向に欽ちゃん球団のキャンプにきていましてそこの宿泊先で私の JC の先輩のベェルフォート日向の谷口さんとの飲み会で意気投合して仲良くなりました。そして 2008 年山本さんもいろいろとありその日向のホテルに隠れて過ごしていました。その時に色々な芸能人の方が空港に来ては山本さんの部屋に連れて行くのが私の仕事でした。その時、空港で飯塚さんのプラカードを持っていましたらなんと和田アキ子さんがきてアコさんの本名は飯塚さんでした

アコさんを山本さんの所まで連れて行くのはすごく緊張しました。いろいろな芸能人とあえてそのおかげで接待の番組ができましたそして CM です吉本興行に加藤浩次さんのギャラを聞くと 5000 万でそれは難しい色々加藤さんも吉本を出ていき最後は山本さんと同じギャラでいいよと言って頂き丸商建設の CM ができました

スマイル

入中 英雄君 先日の奉仕プロジェクト部門勉強会で、職業奉仕竹井委員長と出席された皆様お疲れ様でした。その後の食事会（竹井君・井野畑君・豊田君・入中）の残金をスマイルします。

井野畑善順君 7/5（金）に「わかば奨学会」があり、終了後に食事会をした残金を預かりスマイルで出すはずでしたが、違うカバンに入れて失念しておりました。遅くなったお詫びに私のスマイルをプラスして、今回のスマイル致します。

出席率報告

| | 会員数 | 出席免除 | 出席定数 | H C 出席 | MU | 欠席 | 出席 | 出席率(%) |
|------|------------|-------|------|--------|----|----|----|--------|
| 今 週 | 29 | 7 (2) | 27 | 23 | 1 | 3 | 24 | 88.88% |
| 出席免除 | 清水、渡邊 | | | | | | | |
| 先取MU | 土屋 | | | | | | | |
| 欠 席 | 齋藤奈々、豊田、日高 | | | | | | | |

事務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください。